

災救通信

平成30年
3月1日
第14号

発行

天理教
災害救援
ひのきしん隊
北海道教区隊

逐次発行

宣誓

我々は天理教災害救援ひのきしん隊員であります。一列兄弟の自覚に立ち、真実をもって救援活動にあたります。

各地で冬季訓練

今年是全国的に記録的な大雪の地域も多く北陸地方では1千500台の車が2日間以上にわたって立ち往生となったが、道内でも幌加内町では48年ぶりに積雪記録を更新し、2月26日現在で3メートル24cmとなった。こうした中、豪雪地域では出動に匹敵する冬季訓練が各地で実施された。

富良野支部隊

富良野支部隊（中村孝典隊長）では、2月4日上富良野町で除排雪作業を実施した。上富良野分教会に隊員が集合し礼拝。その後、作業説明などの打合せを行い点呼を取った後、車両3台に分かれ現場へ移動した。用意した軽トラには、スノーダンプやスコップ、ハンマー、ロープなどの資材を装備した。訓練現場となった住宅は、上富良野町社会福祉協議会より依頼された独居老人宅で、屋根の雪下ろしと物置小屋や車庫の除雪作業を行った。

参加者の瀬戸靖崇・支部隊員は、「災救隊の活動



1メートルを超す屋根の雪を丁寧に下ろす。

感想を述べた。

作業後の反省会では、作業を見守る監督役を設けることや、交通・歩行者の誘導役などが必要である。また、作業前には個人の持ち込み資材を確認すべきとの意見も出され、活発な話し合いとなり、次回に向けた有意義な反省会となった。

中村隊長は、「積雪量も豪雪地から比べると少なかったが、丁寧に作業が行われ、隊員らはひのきしんをした充実感に満たされていました」と今回の様子を伝えてくれた。

参加隊員8名 生活掛婦人会1名、合計9名。
一般住宅2軒の除排雪。



ハシゴも補助を付けて安全に。

は、地域の方々に喜ばれているとな実感出来そうですし、こうした訓練に参加することは、今後の支部活動にも生きてくると思いますので、ぜひ、訓練を継続的に続けてほしい」と話し、「支部内の教会、布教所、信者宅などにも除雪で困っているところがあれば、ひのきしんをさせてもらえたらいいのではと思う」と参加の

小樽支部隊

小樽支部隊（久米田忠彦隊長）でも2月19日小樽市内で冬季訓練を実施した。例年と同様に小樽市社会福祉協議会より依頼された独居老人宅の除排雪作業を行った。12時、小樽天理教館に集合し、諸説明の後ワゴン車2台に分乗してスノーダンプ、スコップ等を積み込み、市内の奥沢地区の住宅へと移動した。この日、支部内で葬儀が行われたため、当初の訓練時間を変更しての実施となった。奥沢地区では、屋根までつながった軒下を掘り進み、スノーダンプで運ぶ、そうした作業をくり返して、ようやく軒下から窓が見えるようになった。



半分以上埋まった窓をスノーダンプで排雪。

この住宅に住む90歳のご婦人さんは、「こうして除雪して頂けて本当に、ありがたいです。窓から光が入ると明るい気持ちになります」と感謝の言葉を述べた。また、葬儀に関わる隊員がいたため、告別式前に松ヶ枝地区で久米田隊長と隊員の4名が独居老人宅1軒の除排雪を行っていた。

訓練に参加した中村重敏・北誠分教会長は、「除雪訓練を通して、住んでいる方に喜んでいただけるといいのは、こちらも勇ませてもらえて、ありがたい」と述べ、更に福森分教会ようぼく丸山博資隊員は、「災救援の活動は、素晴らしい活動だなと感じま



作業の様子を見守るご婦人。

した。今回が初めての参加ですが、チャンスがあれば今後も訓練など参加したい」と熱く語ってくれた。

小樽支部としての冬季訓練は10年以上継続して実施している。この間には神戸に住む教友が、「阪神淡路大震災の救援活動のお礼となったら」との思いで冬季訓練に参加してくれたこともあったようだ。救援の輪、ひのきしんの輪が次の力になると感じた。

参加隊員10名（のべ）

午前1軒、午後2軒の除排雪を実施。



小樽天理教館神殿にて記録写真を。

天龍支部隊

天龍支部隊（田中直人隊長）でも2月19日、20日の両日、深川市、雨竜町、沼田町にて冬季訓練を実施した。19日9時に雨龍大教会にて結隊式を行った。結隊式では松下敏孝支部長より挨拶を頂き、支部スタッフが作業説明を行った。その後、他支部隊同様に軽トラにスコップやスノーダンプなどを積み込んで現場へ向かった。

最初は深川市社会福祉協議会より紹介された独居老人宅の軒下除排雪を実施した。



窓の周りの雪をかき出しスノーダンプで運ぶ。



完全に埋もれやり甲斐がある。隊員が頼りだ。

次に、雨竜町にある支部内教会へ移動し、屋根の雪下ろしと軒下の除雪を行った。更に深川市の住宅1軒では、屋根雪下ろしに加え、除雪機とタイヤショベル、2トンダンプを使用して大がかりな除排雪作業を実施した。こうした作業を実施して、1日目予定の作業を終了することが出来た。宿営地の雨龍大教会へと戻り入浴を済ませた。夕食は婦人会の方々が真心込めて用意下さったので、支部隊の親睦も大いに深まった。

2日目は、深川市で教会付属建物と住宅1軒の屋根の雪下ろしを行い、前日同様、除雪機やタイヤショベルを使用しての作業となった。その後、沼田町に移動して、支部内教会の倉庫の屋根雪下ろしをして今回の作業を終え、解散した。

支部隊では、夏と冬に訓練を実施。夏は留萌市内の特別養護老人ホーム萌寿園での草刈り、冬は社協より紹介された現場と、支部内教会の要請に応え除雪している。

災害はいつ何時に起こりうるか分からないので、常々より隊員や婦人会とも連携を取りつつ、有事の際には即時対応できるよう訓練に努めている。

参加隊員のべ17名、婦人会6名。
住宅4軒、教会1軒、倉庫1棟の除排雪を実施。



役割を分担し手際よく運び出しを行う。

